

令和元年度 第1回環境マネジメントシステム改善委員会議事要旨

日時 : 令和元年6月14日(金) 15:00~15:55
場所 : 本部棟 5階 大会議室
出席者 : 吉田 靖委員長, 巢山 弘介, 鈴木 隆, 塚田 真也, 蘭 悠久, 田中 秀和, 中務 明, 中井 誠一, 吉木 茂, 瀬戸川 浩, 山本 浩 (岩倉委員代理), 植田 敏也, 石川 俊行 (周藤委員代理), 石川 ゆず (清水委員代理), 藪野 彩夏, 栗山 政和 (周山委員代理), 吉岡 英志, 田中 秀典
陪席 : 安達 健登
事務 : 澤谷 弘美, 安田 隆之, 今井 恭子, 上野 和将, 櫻井 奈央

確認事項 :

1. 平成30年度第3回松江キャンパスEMS改善委員会議事要旨の確認
委員長より, あらかじめ送付していた前回委員会の議事要旨(案)について, 内容を確認したところ意見等はなく, 本委員会において改めて確認したが, 特に意見はなかったため, 原案どおり確定しホームページに掲載することとした。
2. 松江キャンパスEMS改善委員会規則及び組織体制等の改正について
組織改編に伴った規則改正及び組織体制の変更を確認した。
3. 令和元年度松江キャンパスEMS改善委員会委員について
委員会に先立ち, 委員長より松江キャンパス環境マネジメントシステム改善委員会委員について, 4月以降交代した委員について名簿により確認した。

議題 :

1. 平成30年度における各部局等実施内容等報告書に基づく評価結果原案について
委員長より, 各部局等から平成30年度に取り組んだ活動に対する報告書の提出があり, 内容について5月30日に開催した専門委員会で確認し, 評価原案を作成した旨の説明があった。
巢山専門委員会委員長より, 委員会規則第9条に定める委員会による評価等に基づき, 評価結果原案を作成したこと, 評価の考え方として, 項目ごとにP-D-C-Aサイクルが回っているかどうか, 翌年度へのイメージがあるかを判断基準としたことを述べられた後, 資料に基づき評価内容の説明があった。
研究や教育において実際に環境に関する取組みを行っているが見落としている部分や, 実験系や生活系における実績の具体的な成果が見えてこない部分が, ウィークポイントの特徴としてあげられるとして述べられた。
また専門委員会で評価以外での意見を求めたところ, 委員より歩きスマホに関する注意喚起の表示などがあってもよいのではないかとの意見があった旨報告された。
審議の結果, 原案のとおり承認された。
委員長より, 本来であれば各部局等実施内容等報告書の提出期限は4月17日としていたため, 5月末日に各部局へ評価結果を通知しなければならないが, 報告書の全ての提出を終えたのが5月27日であり, 予定が遅れているため, 本委員会です承後, 速や

かに各部局へ通知を行う旨述べられた。

2. 「環境報告書 2019」の作成について

委員長より「環境報告書 2019」作成要領は、すでに確定している旨報告があり、事務局担当者より、現在の進捗状況について、資料に基づき報告があった。

委員長より、表紙については、学生EMS委員会が実施しているビビットとあーとコンテストの最優秀賞作品となること、各部局等から提出された前年度の実施内容等報告書を参考に、報告書の目次を作成したことの説明があった。

トピックスについては、施設整備として「学生センター及び総理3号館の空調改修」、事務局から化学物質等管理委員会の「廃液タンクの見直し」について提案した。

また、「第三者からの評価」について、本年度はリースクールこどものSONORA代表の山岸主門氏に原稿依頼する旨報告があった。

委員より「環境報告書 2019」のダイジェスト版について3000部作成とあるが、前年度の残部数はどのくらいか、残部数によっては本年度発行部数の見直しを検討してはどうかとの意見があった。事務局担当者より前年度の残部数はほとんどなく、同部数での作成としたい旨説明があった。

審議の結果、異議なく承認された。

また、委員より「環境報告書 2019」にSDGsのマークを取り入れることについて、提案があった。委員長より、本件については、事務局で原案を作成し、校正の際、確認していただきたい旨説明があった。

3. 島根大学における節電の取組実行計画（夏季）の策定について

委員長より、夏季における節電取組実行計画について案を作成した旨説明があった。

エネルギー企画推進者より、本年度の節電取組実行計画（夏季）案について、資料に基づき説明があった。

前年度に空調機器の一部を重油式から電気式に転換したことにより増える見込みではあるが、気温が例年通りの可能性があること、各部局等での省エネの取組が浸透していること、設備機器更新で期待される節電効果を踏まえ、前年度電力使用量以下を節電目標とする。

使用電力量前年度維持の達成には、目詰まりした空調フィルター清掃等の節電取り組みを行うことその他、設備機器更新で期待される節電効果により達成を目指すとした。

委員より、松江キャンパスの電力について、入札により調達しているのかという質問があり、エネルギー企画推進者より、見積りを徴取し検討した上で契約している旨回答した。

審議の結果、異議なく承認された。

4. その他

特になし

報告事項 :

1. 令和元年度各部局等の活動計画について

委員長より、本年度の各部局等のEMS実施内容（計画）を一覧にまとめた旨述べら

れ、計画された内容について取り組んでいただくよう説明があった。

2. 平成 30 年度冬季の電力使用量実績について

委員長より、平成 30 年度冬季については、前年度（2017 年度）比で 1%の削減を節電目標としていたが、実績は前年度比 7%の削減となり、目標を達成した。

これは、省エネ取組みに加え、平均気温が前年度より 1.8℃高く、また平成 29 年度、30 年度に行った設備機器更新により空調の消費電力が大幅に減少したことにより削減できた旨報告があった。

3. 松江キャンパスにおける受動喫煙の防止及び敷地内禁煙に向けた取組みについて

委員長より、平成 30 年度第 3 回 EMS 改善委員会メール会議において、受動喫煙防止対策について本学の現状等を報告しているが、その後受動喫煙を防止するための措置等を具体的に定めた関係政省令・告示の公布を受けて、その施行内容を踏まえた松江キャンパスにおける受動喫煙の防止及び敷地内禁煙に向けた取組み等について、3 月 22 日の臨時役員会にて議決、学長決裁後本学 HP に公表したとの説明があった。

改正健康増進法の公布を踏まえ、学校等は今年度 7 月から原則敷地内禁煙となるが、6 月末までに必要な措置を講じた屋外喫煙所を 2 箇所設置し、現在設置している喫煙ハウスを全て廃止すること、さらに近隣住民への対応も考慮しつつ、学内で禁煙に関する研修や教育を実施するとともに、喫煙違反者に対するパトロール等を強化し 2022 年 4 月に敷地内禁煙（全面禁煙）を目指す旨説明があった。

4. 学生 EMS 委員会委員の委嘱について

委員長より、本年度の学生 EMS 委員会委員は、資料のとおり活動の意思表示をした 17 名の学生に委嘱したことが述べられた。

5. 学生 EMS 委員会の活動報告及び活動計画について

委員長より、前年度の活動報告と本年度の活動計画について、学生委員より説明する旨述べられた。

学生委員より前年度の主な活動として「ビビットあーとコンテスト」、「緑のカーテン」、「環境フェスティバル」及び「ペットボトルキャップ回収」等を行っており、「ペットボトルキャップ回収」について報告があった。続いて本年度の活動について「緑のカーテン」、「ビビットあーとコンテスト」、「ペットボトルキャップ回収」、「学内ゴミ調査」、「池調査」等を予定している報告があった。

委員より、ペットボトルキャップを回収箱に「回収箱にいっぱいになるとワクチン〇本になります」等の仕掛けがあると、キャップを入れる人も協力しやすくなるのではないか。前年度学生 EMS 委員会が行った全体の成果や課題も整理しているため、これが環境報告書の「学生の環境に対する取り組み」に生かすとよいのではないかとの意見があった。

6. その他

- (1) 学外委員松江市環境保全部環境政策課長の吉岡委員より、環境の啓発イベントとして「キャンドルナイトまつえ」について説明があった。

(2) 委員長より、EMS改善委員会の取組みとして実施している6月環境月間行事について、本年度は松江キャンパス一斉除草作業を実施し、当日約200名の参加があった旨報告があり、感謝の意を表した。

(3) 委員より、以下の質問があり回答を行った。

エレベーターを使用しなければ節電になるのかとの質問があり、エネルギー企画推進者より、使用しなければ電力量が発生しないので、削減となる。

平成27年に改正フロン法が施行され、大学内の研究用冷蔵庫等は定期点検を実施することとなっているが、点検は行っているかとの質問があり、これについては、確認した上で、後日事務局より回答することとなった。